

****夕田地区古墳群確認調査****

「蓮野古墳」の確認調査と現地見学会のお知らせ

- 開催日：平成30年2月25日（日） 13:30～15:00
- 内容：調査担当者が現地にて13:45から45分ほど成果について解説します。
古墳は15時まで見学できます。
- 集合場所：とみか保育園駐車場から誘導します。古墳までは徒歩10分ほどかかります。
- 駐車場：とみか保育園・資料館の駐車場をご利用下さい。路上駐車は控え下さい。
- 申込先：申し込みは不要です



富加町郷土資料館



盛土の土層断面



平成21年度から実施した「夕田茶臼山古墳」は3世紀前半に造られた事が判明し岐阜県史跡に指定されました。夕田地区には他にも2基の前方後円墳（杉洞1号墳、蓮野古墳）が確認されています。狭い範囲に複数の前方後円墳が築かれる地域は、県内にそれほど多くはありません。富加町では、文化庁及び岐阜県教育委員会からの助言を受け、この2基の前方後円墳を順次調査し、年代や盛土方法、規模を明らかにし、夕田茶臼山古墳との関係を探る事としました。

昨年度の杉洞1号墳に続き、今年度は、蓮野古墳の確認調査に着手をしました。

蓮野古墳は盛土の大部分を削られており、形は明らかではありませんが、定型化した左右対称の前方後円形ではないようです。写真のような壺などを据える台（器台）が突出部最下層から出土し、土を盛る前に地鎮祭のような事をおこなっていると考えられます。杉洞1号墳でも同じような位置で土器が出土していますので、同じ習わしを共有している可能性があります。この土器の年代が、古墳の築造年代を示すと考えていますが、夕田茶臼山古墳や杉洞1号墳より古い可能性があります。夕田の谷に最も初め築かれた墳墓の可能性があり、有識者による検討委員会にて調査成果の検証をしています。



歴史愛護マーク